



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 ニチモウ株式会社  
代表社名 代表取締役社長 松本 和明  
(コード番号 8091 東証第 1 部)  
問合せ先 総務部長 山本 敏夫  
総務チームリーダー 平田 亨  
(TEL 03-3458-3524)

## 「第 131 期中期経営計画（100 周年への飛躍）」策定に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期から平成 31 年 3 月期までの 3 ヶ年における「第 131 期中期経営計画（100 周年への飛躍）」を新たに策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. はじめに

前「第 128 期 3 ヶ年経営計画」での当社グループを取り巻く経営環境は、一定の景気回復基調が見られる一方で、欧州債務問題、中国を始めとするアジア各国の景気不安定感、円安による為替の影響、海外水産物原料価格の高騰など、依然として厳しい環境下のなか、事業を展開してまいりました。

このような状況のなか、前計画において「ニチモウ全チームとグループ各社の黒字化を実現する」目標は達成できていないものの、事業改善は着実に進展しており、また、当社は平成 31 年 8 月 17 日に創立 100 周年を迎えるにあたり、「100 周年への飛躍」として更なる利益体質の強化を最優先に本計画を策定いたしました。

#### 2. 基本姿勢

##### (1) 経営理念

会社は社会の公器であるとの精神に立ち、業界をリードする技術とサービスをもって広く社会の発展に貢献する。

\*創業以来、脈々と流れる基本精神を当社グループの経営理念として引き続き堅持してまいります。

##### (2) 長期ビジョン

- ・“浜から食卓まで”カバーする唯一の水産専門商社「ニチモウ」を中核とし、周辺領域で独自の専門性を持つ連結各社でニチモウグループを構成する。
- ・それぞれの企業は、その事業領域で市場から評価される特色ある「勝ち組企業」となる。
- ・グループで業界トップの経常利益率を実現し、ステークホルダー（従業員、顧客、取引先、株主）から信頼される企業集合体として、21 世紀に安定し発展的に事業が行える企業・ニチモウおよびニチモウグループになる。

##### (3) 経営方針

- ・ニチモウ全チームとグループ各社の黒字化を実現する。
  - \*食品事業は、利益体質の再構築を行うとともに近海魚事業を推進する
  - \*海洋・機械・資材事業は、確立した利益体質の安定化を図り海外展開の拡大を目指す
- ・ニチモウおよびグループ各社の事業横断による連携を強化し事業拡大を図る。
- ・海外売上比率 20%を目指す。

### 3. 中期経営計画の目標

#### (1) 最終年度（平成31年3月期）の数値目標

連 結 売 上 高	1, 170億円
営 業 利 益	17億円
経 常 利 益	16億円
R O E	7%以上

#### (2) 目標達成のための施策

- ・食品事業  
凍魚部門、加工食品部門の再構築を行うとともに、新たな柱として近海魚事業を推進してまいります。
- ・海洋事業  
市場が大きく拡大することが見込めませんが、既存取引先との関係を強化し、受注率の拡大を目指してまいります。
- ・機械事業  
売上高100億円、経常利益率2.8%の達成を目指すとともに、経験蓄積による営業力の強化を図ってまいります。
- ・資材事業  
新規商材の拡販を図るとともに、経常利益1億円以上を目指してまいります。
- ・管理部門  
グループ全体の企業価値向上を目指し、組織連携の強化に努めてまいります。

以 上